

つうしん
「うちどく」通信～2017.7～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕



1年 おとは 『わゴムはどのくらいのびるかしら?』 マイク・サーラ Eサ 聞いた人:お母さん

おとは: わごむがうちゅうまでのびました。すごかったです。
お母さん: わゴムがどんどのびて行って、おもしろいお話でした。本当にこんなにのびるわゴムがあったら楽しいね、とお話しました。

1年 るな 『バナナじけん』 高島那生 Eタ 聞いた人:お母さん

るな: うさぎがおもしろかったです。
お母さん: 楽しそうに読んでくれたのでよかったです。



2年 りおな 『たなばたバス』 藤本ともひこ Eフ 聞いた人:お母さん

りおな: バスなのに、ロケットみたいにそらにいったからすごかったです。おりひめさまとひこぼしさまがあえたからよかったです。すいかがおもしろいそうだったから、わたしもたべたいです。
お母さん: ちょうど、七夕の日に読めたので良かったです。くしゃみで雨雲をふきとばすところがおもしろいと思いました。今年は雨で天の川は見れませんでした、来年は晴れるといいなと思いました。

2年 かいおう 『矢部川くすべえ』 古賀まり子 Eヤ 聞いた人:お母さん

かいおう: くすべえは、みんなにこわがられていたけど、さくらという女の子がやさしくしてくれたからうれしそうですね。
お母さん: こうずいがおこりそうなとき、くすべえは自分の体をぎせいにしてさくらちゃんやみんなを守ってくれてすごいと思いました。本当に、くすべえは船小屋にいるそうなので、会いに行ってみたいと思いました。

2年 あい 『おふろだいすき』 松岡享子 (きょうかしょ) Eマ 聞いた人:お母さん

あい: おふろからいろんな生き物がでてきておもしろかったです。カメが、海や川とまちがえていたところがおもしろかったです。
お母さん: 今日は、娘ががんばって読んでくれました。お風呂が楽しくなりそうな本でした。

3年 ふみあき 『ラッコのひみつ』 池田菜津美 48イ 読んだ人:お母さん

ふみあき: ラッコのことがいろいろわかってよかったです。
お母さん: この本には、ラッコと飼育員さんのことについて書かれています。ラッコの体や、飼育員さんの一日など、知らなかったことがいろいろあっておもしろかったです。

4年 まさはる 『ジャックとまめの木』 渡辺茂男 Eワ 聞いた人:お母さん

まさはる: 「ジャックとまめの木」は、ぼくは、まめの木じゃなく、「ジャックとまめのつた」だと思います。ジャックがまめの木にのぼれるのなら、ぼくもまめの木に1回でいいからのぼってみたいです。
お母さん: この本は、有名な本で、2回読んでくれました。「めうし」と「まめ」を取り替えたことで、人くい鬼が地面に落ち、お金持ちになり、幸せに暮らすことができました。

4年 あおい 『ちか100かいだてのいえ』 いわいとしお Eイ 聞いた人:おばあちゃん

あおい: ぼくも、ちか100かいだての家に行ってみみたいです。そして、行ってケーキを食べたいです。
おばあちゃん: 次の階へ行くのが楽しくなるような内容の本でした。最後の、地下100階では、とても楽しいパーティーで、気持ちが嬉しくなりました。

【7/10 提出分】

提出数/人数 (欠席)	提出数/人数 (欠席)
1年 23/23 ☆GOOD☆	4年 24/25
2年 16/19	5年 19/20
3年 20/21	6年 27/28 (1)
	全校 129/136 (1)

5年 ゆうと 『もっとおおきなたいほうを』 二見正直 Eフ

聞いた人:お母さん

ゆうと: さいごはおふろになったところがとてもよかったです。ぼくも入りたいです。
お母さん: 大砲を撃ちたくて仕方なかった王様でしたが、最後には、大砲を撃ちたいと思わなくなり、半分にしてお風呂にしていました。戦争をしている人たちも、戦うことをばからしく思い、仲良く過ごせるといいねと話しました。

5年 ちひろ 『十二支のはやくちことばえほん』 高島純 Eタ

聞いた人:お母さん、けいいちろうさん

ちひろ: ふつうに読むとかんたんに読めるが、早口で読むとむずかしいので、たくさんかんでしまいました。でも、とても楽しく、おもしろかったです。他の早口言葉を調べてみたいです。
お母さん: 早口言葉をみんなで言うと、自然と笑顔になります。なかなかうまく言えない早口言葉は、大ばく笑です！チャウチャウチャウ？のときは、何度もチャウチャウチャウん？チャウチャウチャウやろー。と、笑ったね。

6年 まい 『今日からは、あなたの盲導犬』 日野多香子

(きょうかしょ) Eヒ 聞いた人:お母さん

まい: 目の不自由な人の安全を守るために、犬たちは4ヶ月間でたくさんのおぼえなければいけないから大変だと思いました。盲導犬が、人の目の役目をしているときは、温かく見守りたいなと思いました。
お母さん: 一頭の盲導犬を育てるのは、本当に犬が好きだからだけではできない仕事だと思います。写真付きで、わかりやすい本でした。

6年 まう 『でんでんむしのかなしみ』 新美南吉 Eニ

聞いた人:お母さん

まう: 他のでんでんむしは、このでんでんむしのように思わなかったのかなと思いました。
お母さん: 悲しみが深いほど、人に優しくなれる！悲しみを受け入れ、いろんな経験を糧に、豊かな人生にしてほしいと思いました。